

ふるさと

第 26 号



皆さんご存知では？

目次

2018 第 4 回麻生ふるさと交流会	(1)
麻生区の展望：講演要旨	(4)
同窓会の後の楽しみ	(8)
「翔んでる埼玉」に想う	(9)
閑上地区の被災地を訪ねて	(11)

発行：2019年4月27日（第26号）
発行：麻生ふるさと交流会事務局
担当：平塚 征英、横田 彰夫

麻生ふるさと交流会

た

表紙写真：平塚 征英 さん

タイトル：皆さんご存知では？

年 月 日：2015. 5. 7

場 所：宮前区神木本町：等覚院

記 事：川崎でツツジの名所といえば、
「等覚院」ですね。 今年の見頃は、
4/24-25 くらいとの予想でしたが。

「麻生ふるさと交流会」ホームページ

<http://web-asao.jp/hp2/asao-furusato/>

2018 年度・第4回麻生ふるさと交流会

場 所:麻生市民交流館 やまゆり

日 時:2019 年 1 月 19 日(土)

13 時 30 分～17 時 00 分

参加人数 37 名、懇親会参加 27 名

(会員外参加者を含む)

第1部 麻生ふるさと交流会 講演会

(13:35～15:35) 司会:辻村副会長

- ◇ 松本会長挨拶:今年は猪年です。猪は縄文時代から食されていました。



- ◇ 司会の辻村さんから、今回の講師は昨年9月に、かよおう会で講演され、会員の紹介により実現しました。
講師・岩倉宏司様のプロフィールの紹介がありました。



**【演題①】:『麻生区の展望』…岩倉宏司 様
(株)エリアブレイン代表取締役社長**



☆講演要旨をp4～p7に添付しますので、別紙参照願います。

- 川崎市の新たな総合計画と麻生区の計画

1. 地域課題解決に向けた主要な取り組み
2. 新百合ヶ丘を取り巻く状況
3. 横浜市営地下鉄3号線延伸
4. 柿生駅周辺のまちづくりビジョン
5. 豊かな自然と芸術が溶け合う活力のあるまち
 - ✓ 新百合ヶ丘の変遷
 - ✓ 新百合ヶ丘駅エリアの諸課題
 - ✓ 公共施設、交通
 - ✓ 住宅地
 - ✓ 商業施設

- 質疑応答

1. 宮本さんより新百合周辺の区役所、地主他の打ち合わせはあったのか
2. 10年後に区役所周辺はどうあるべきか。ホール、会議室などの事、誘致すべき企業は
3. 中島さんが亡くなったことでの影響は、OPA、モリノ、イオンなど
4. 柿生の今後について

【演題②】:会員による『ふるさとトピックス』

…内容は「ふるさと」第25号に掲載済です。

- ◇ ふるさとランキングに想う(千葉県)
…宮本さん
- ◇ 青春18切符の残券で、茨城歴史散策
…平塚さん

第2部 懇親会(16:00~17:00)

乾杯の音頭 竹市さん

- ◇ 今回も有難い差し入れを頂きました。
 - 日本酒:寒竹(長野県)・蔵人しか飲めない新酒(飛騨高山)・芳賀の香り(栃木

県)・武甲(秩父の銘酒)、禅寺丸ワイン
…講師の岩倉様・宮本・平塚・森・宮河様

- ワカサギの煮干し(茨城県)・南蛮菓子ザビエル…平塚・片嶋様
記載漏れがあったらごめんなさい。





『麻生区の展望』:講演要旨

会報担当者

本文は講師の岩倉宏司様の講演パワーポイントを基に、会報担当者が編集したものです。

1. 市の総合計画の中の麻生区の区計画

1.1 麻生区の区計画

麻生区の区計画は『豊かな自然と芸術が
溶け合う活力のあるまち』です。

市民の暮らしに身近な区役所が市民、地
域で活躍する団体などと協働で行う地域課
題解決に向けた主要な取組を以下に述べま
す。

1.2 麻生区の現状と課題

- ◇ 芸術・文化が輝き、豊かな自然に恵まれて
います。
- ◇ 支援を必要とする高齢者の増加や人口減
少による空き家の増加が見込まれていま
す。
- ◇ 子どもが増えている地域もあり、区民の子
ども・子育て支援のニーズは高くなって
います。

- ◇ 犯罪・交通事故の少ないまちですが、災害
などに備える区民の意識は高まっていま
す。
- ◇ 地域には知識や経験を持った人がたくさん
います。

1.3 麻生区の地域課題解決に向けた 主要な取組

- ◇ 芸術・文化のまちづくりの推進
- ◇ 農と環境を活かしたまちづくりの推進
- ◇ 高齢化への対応とすこやか・支え合いの
まちづくりの推進
- ◇ 安全・安心のまちづくり
- ◇ 総合的な子ども・子育て支援の推進
- ◇ コミュニティづくりの推進
- ◇ スポーツのまち麻生の推進

2. 新百合ヶ丘駅エリアの諸課題

2.1 新百合ヶ丘の変遷



新百合ヶ丘開発以前:1960年代後半



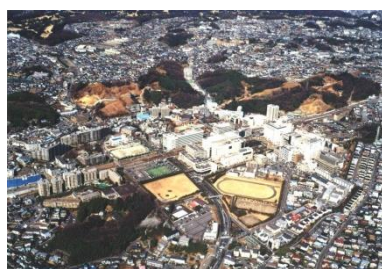
新百合ヶ丘駅開業当時:1974頃



1985 新百合ヶ丘



1992 新百合ヶ丘



2002 新百合ヶ丘



2011 新百合ヶ丘…王禅寺から

2.2 基盤整備の経緯から生じた点

- ・1960年代後半～70年初頭、農住都市構想として計画を、大きく状況が変わった80年代にそのまま開発
- ・69年 鈴木柿生農協組合長「土地を決して手放してはならない」
- ・72年 柿生百合ヶ丘土地区画整理組合準備会設立
- ・74年 新百合ヶ丘駅開業・多摩線開業
大店法で地元商店街・環境アセスで一部住民と交渉難航
- ・77年 新百合ヶ丘駅周辺土地区画整理組合設立(中島豪一理事長)
- ・80年 上物建設マスタープラン
- ・82年 麻生区誕生、麻生区役所完成
- ・84年 区画整理竣工
- ・85年 麻生市民館・図書館の開設
- ・92年 「マプレ専門店街」「小田急エールミロード」開業
- ・97年 マイカルグループ「新百合ヶ丘ビブレ」ダイエーグループの十字屋「新百合ヶ丘OPA」開業
- ・07年 万福寺竣工・昭和音大開校・やまゆり完成

2.3 公共施設:行政施設の老朽化、多様化する住民サービスへの課題

- ◇ 区役所の老朽化、財政難から長寿命化施策
 - ・住民票などはコンビニや駅の行政センターで
 - ・高齢者、乳幼児に関わる健康・福祉サービスは対面が望まれる
- ◇ 市民館の老朽化、機能の不足
- ◇ 図書館から情報館へと機能充実の要請
- ◇ 消防署の再配置の課題
 - ・緊急出動時の渋滞などが、懸案として上がっているが未対応
- ◇ 休日急患診療所の老朽化
 - ・病後児保育などの対応の要請も強まっている

2.4 商業施設:魅力を失う商業施設、都市間競争の激化

- ◇ 大型ショッピングセンターのみに頼る商業、陳腐化
- ◇ 新百合ヶ丘エリア全体で売上高約450億円。
- ◇ 狭商圈で(約2キロ)、外への広がりが少ない
 - たまプラーザ東急百貨店とSCだけで650億円
- ◇ 新百合ヶ丘商店会が十分に発達していない。
 - ・駅周辺で物販、飲食店が出店できる区画が少なすぎる。
 - ・相対的にテナント賃料が高止まりしている。
- ◇ 周辺住宅地は地区計画により商業化できず、商業・業務エリアが拡大しない

2.5 住宅地:新百合ヶ丘駅エリアにおける不動産取引の傾向

- ◇ 駅周辺マンションの価格上昇
 - ・分譲時から10%以上の値上がりも見られる。
 - ・一部マンションはブランド化の傾向
- ◇ 中古戸建の取引増加(前年比倍増)
 - ・マンション価格上昇による戸建への見直し
 - ・リフォーム済み戸建が人気(2500～3500万円)
 - ・マンションに比べ価格上昇は一部にとどまる
- ◇ 小田急多摩線エリアの人気化
 - ・築年数が浅く、駅から歩ける物件が多い
 - ・千代田線直通急行の増加。はるひ野エリアの人気化
- ◇ 周辺分譲地の動向
 - ・旧分譲地は築年数進行による売地化加速。
 - ・上麻生2丁目、山口台、万福寺は価格維持
 - ・駅近マンション、または都心部への買換え増加

2.6 交通: 鉄道計画など交通要所としての要請



- ◇ 横浜市営地下鉄3号線の延伸2030年開業か
 - ・あざみ野～新百合ヶ丘駅で新横浜、横浜臨海部、港北ニュータウンエリアとの利便性拡大
 - ・新横浜まで約25分に
 - ・名古屋まで約2時間
- ◇ 中央新幹線(リニア)が2027年開業
 - ・橋本駅新設(相模原市、町田市エリアの活性化)
 - ・橋本駅までは22分
 - ・名古屋まで約1時間
- ◇ 横浜環状北西線2020年完成予定
 - ・横浜～第3京浜港北ICまでは完成。
 - ・東名横浜青葉ICまでは2020年開通。
 - ・新百合ヶ丘から横浜青葉ICまでは15分
 - ・羽田空港まで約40分

3. 横浜市営地下鉄3号線延伸



- ◇ 事業化決定 → 横浜市・川崎市 両市長共同記者会見
- ◇ 新百合ヶ丘の駅位置

- ・新百合ヶ丘駅周辺の再整備
- ・役所建替え、公共施設の移転
- ・交通体系・交通広場の再整備 駅前空間の整備
- ・商業施設の再整備
- ・働く場所の創出
- ◇ ルート、中間駅
 - ・中間駅周辺の整備
 - ・交通広場 バス便(オンデマンド交通)
 - ・商業・飲食・コミュニティ施設
 - ・ショッピングセンター・コンビニ
 - ・保育施設・コワーキングスペース
- 中間駅周辺住宅エリアを循環型持続可能なまちづくり

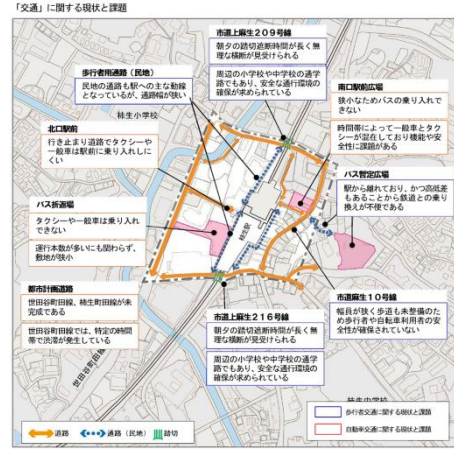


4. 柿生駅周辺まちづくりビジョン

- ◇ 柿生駅南口地区 再開発計画概要
- ◇ 駅前広場には賑わい空間
 - ・生活利便施設と都市型住宅の整備を中心とした開発
 - ・自由通路の必要性は認知
- ◇ 駅前広場 2,200平方m(現状500平方m) 2.5mの歩道 4.0mのセットバック
- ◇ 商業棟 高さ12m 3,500平方m
 - スーパー、飲食、物販、金融機関
 - 飲食店舗
- ◇ 駐車場は南側からを想定、

窓口サービスは市と検討
 テラス広場(自由通路を想定?)

- ◇ 住宅棟 高さ 105m(30階)
36,000 平方m
- ◇ スケジュール
 2019 年度 都市計画手続き
 環境アセス
 2020 年度 本組合設立
 2021 年度 着工
 2024 年度 竣工



小学校同窓会の後の楽しみ

新井 稔弘

平成30年10月28日、祇園花郷にて同窓会が開催された。

いつも会場は、小生にはまず探せない京都らしい料亭であった。繊細で味もしっかりして、かつ出汁の効いた料理であり、日本酒もはかどり皆様と楽しく歓談できた。いつものことながら、幹事さんのご努力には敬服の至りである。その後、旧友と三次会まで楽しくお酒を酌み交わし、また呑みすぎ状態でホテルに到着。

翌日は家内を案内し、竹の寺→鈴虫寺→松尾大社→天龍寺と観光した。

嵐山はシーズンではないのに、外国人であふれかえっており、二度と行くまいと心に決めた。

しかし松尾大社では大収穫があった。なんと、ここは日本酒の神様であり、全国からの樽が境内に陳列されていた。



酒の資料館があり、松尾大社と酒の起源、酒造りは卯の日に始め酉の日に完了するとされている。



酒の起源

松尾大社では、11月の「上の卯の日」に醸造の安

全を祈願する「上卯祭」、4月の「中の酉の日」には醸造完了に感謝する「中西祭」が開催されるそうです。



上卯祭には全国の酒、味噌、醤油、酢の醸造関係者が参拝に訪れるそうです。

日本酒オンリーの小生にとっては、一層愛着をもって日本酒を楽しめる知識を得ました。その中でも特筆すべきは、なんとこの資料館に、旧友の清水保孝さん親子の杯が、並んで奉納・展示されていたことです。



家内はさておき、今回もよりいっそう記念となる同窓会となりました。

映画「翔んで埼玉」に思う ～埼玉県の話～

宮本 直紀

今埼玉県民は元気だという。

映画「翔んで埼玉」が結構話題になっているようなので、ふるさと交流会会員としての好奇心的な関心から観てきました。

漫画の映画化で、主役はGACKTと二階堂ふみ。率直な感想は「娯楽映画」「埼玉県民を元気にする」「若者向き」「軽く笑える」といったところか。



東京では埼玉県民への迫害が続き、通行手形がないと都内には入れない。

そこで埼玉を中心に、千葉・茨城・神奈川が東京に攻め込むというお話。埼玉を柱に、アンチ東京の千葉・茨城(チバラキという言葉もあり)・神奈川・群馬・栃木の地名・特産品・有名人が次から次へと繰り出されるなど、コメディ調の映画でした。

また飯能に、ムーミンをテーマにした公園・テーマパークが開園したようなので、一度行ってみたいと思っています。

<森さんメール>

今年は、埼玉県の年でしょうか????

埼玉県はダサイと言われ、“ダ埼玉”はタモリの造語ですが、今は下火になりました。

深谷市の偉人「渋沢栄一」が一万円札になるとか。



3年前に渋沢栄一記念館と生家の旧渋沢亭邸「中の家」(なかんちと読む)に見学に行きました。豪農の家ですが、養蚕や藍玉づくりとその販売で財を成し、旧渋沢亭邸には土蔵が4棟もあり、立派な建物です。



複数パンフレットを持っていますので、交流会に持参します。

8年を経た福島県・浜通りの現状と欄漫の桜を訪ねるツアーに参加して

宮河 悦子

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で、避難した富岡中高バトミントン部の生徒たちを、平成二十三年五月から受け入れ、学生寮として、生徒たちの親代わりとして、生徒たちを支えてきた猪苗代町の“あるばいんロッジ”のオーナー夫婦と知り合いということもあり、私も生徒たちにささやか差し入れをして声援を送りました。

今年の三月国際環境NGO FoEJapanの主催「どう伝える？原発事故のこと」の席上で、登壇した富岡町の避難者の方のお話を聞きました。

そんな事が重なって、富岡町の現状を見たいと思っていた時のツアーの案内でした。四月六日七日・新宿福島県人会絆の会の根本二郎さんの縁で参加させていただきました。

今回のツアーは、私にとって有意義な、深いものを汲みとれた旅になりました。また、初対面の全国ふるさと大使連絡会議の方々と懇親ができた事も、私の活動の資産になりました。

富岡町に入っの光景は、八年間放置された民家・商業施設など廃墟化した建物が印象的でした。



黒い袋に入った汚染土は、緑のシートがかぶせられて、黒い袋よりは景観は良いかもしれませんが、何も解決していないこの現状に、心が締め付けられる思いがしました。富岡町の避難者の方が、「もとの町に戻して！」と訴えていた事が痛々しく思えます。

帰還困難区域内の桜並木の夜の森が一部開放されて、桜まつりが行われていました。

今年はシャトルバスが、開放された区域の奥の区域の桜並木を走っています。私たち一行は予定より遅く着いたので、シャトルバスに乗れませんでした。夜の森の桜並木では、ひょっとこ踊り・よさこいソーランなどが披露され賑やかでした。



どこの町でも行われている桜まつりと同じです。いつの日か普通にどこの町と同じように桜まつりが開催されること祈るばかりです。

この日だけ帰還した富岡町民も、たくさんいたことでしょう。桜まつりの会場の富岡第二中学校(廃校)の環境省のブースでは、メッセージを書いた桜を枝に付けて、千枚桜を作っていましたので、私も富岡中高バトミントン部へ応援メッセージを書きました。五月に新宿御苑のイベントに持って行くそうです。

夜の森を後にして、今回案内をしてくれた鈴木亮さんも関わっている、民間団体の双葉郡未来会議が運営している「ふたばいんふお」を訪れました。双葉八町村の現状が展示されています。

次に「東京電力廃炉資料館」へ。原発事故の事実と廃炉事業の現実を展示してあります。

富岡町は二～三割ぐらいしか戻ってきていません。廃炉の作業員の数が千人を超えて、住宅が不足している現状なのだそうです。四十年はかかるといわれる廃炉。廃炉が終わっても、この作業員の仕事が存続し、富岡に家族と共に移住して、元気な富岡の町を帰還した人たちと共に、作って欲しいと思います。

宿泊は川内村です。川内村も原発事故で全戸避難した村です。数名の村民が村を守る為に残ったそうです。放射線量が住める基準になった一年後、村長・村の有識者・村民の判断で帰還を決めたそうなのです。

八割程度の村民が戻って来たそうです。家屋もそのまま使用できたので、美しい村の景観は変わっていません。村営温泉「かわうちの湯」に行った時、村の方々が「村長さんは若いけど立派な人だよ～」と仰っていました。

その夜小松旅館の懇親会に村長さんも見えて、川内村の今そして未来についてお話を聞きました。

翌日は子ども園・小中一貫校をめざす小学校とその敷地内の天皇陛下の記念碑と、いわなの郷を見学して、滝桜観桜へ。

残念ながらもまだ開花していませんでした。でも雄々しい姿です。

川内村も富岡町もがんばれ！！

ゆりあげ 閑上地区の被災地を訪ねて

平塚 征英

仙台には転勤のため 18 年間住んでいたが、東日本大震災の2年前の 2019 年に横浜に戻ってきた。その後も年に数回は出かけて行って、自然薯掘り・山菜採りや昔の仲間と会うのを楽しみにしている。

今回は4月21日(日)に名取市の閑上地区の被災地を訪ねてみた。

閑上地区は東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた。震災前、閑上には約 7,000 人が暮らしていたが、最大約9m の津波で、900 人を超える犠牲者が出た。

震災から8年が過ぎ、宅地造成や災害公営住宅などハード面の整備が進む一方、地域再生やコミュニティーづくりといったソフト面の充実が問題となっている。

…翌 22 日の河北新報記事から抜粋



閑上には震災 1 年後にも訪れたが、今回は名取駅から路線バスを利用した。

被災地の状況を見るため、終点の震災メモリアル公園前の手前で下車。道路脇の地上した盛土上には、新築の一戸建て住宅が立ち並び、その奥に集合型災害公営住宅「閑上中央第2団地」の6階建ての建物が何棟か見えた。



広い新しい道路を進むと、左側には別の集合住宅

が見えるが、右側は田んぼと地上げ造成や道路工事が行われているだけで、個人住宅は全くない。この辺りは津波の影響を受けるので、非居住地域になっているのだろう。

少し進むと貞山堀に着く。伊達政宗の時代に、阿武隈川沿いの丸森や角田の材木を安全に運搬するために開削された運河で、この辺りでは木曳堀と呼ばれていた。

橋の上から広い道路の先には、日和山と神社がすぐ近くに見えた。隣には前回はなかった慰霊碑が建っていた。

日和山は大正 8 年に、人の手で作った高さ 6.3m の築山で、閑上で漁業を生業にしている人は、日和山から海の様子を見たとのこと。

頂上には神社本殿の他に、津波記念碑が建てられていたが、約9mの津波により壊滅的に破壊され、記念碑は山の斜面下に倒れていた。

これは昭和 8 年 3 月の 3 日の昭和三陸大地震による津波を記した石碑である。石碑には、「震嘯記念」「地震があつたら津浪の用心」と刻まれている。地震で発生した津波が押し寄せ、幸いにも人命は失われなかったものの、先人たちは後世への警告と教訓とするために石碑を建てたと言う。

前回の語り部タクシーの説明では、町内会役員が先人の警告を忘れて、多くの犠牲者を出したことについて反省し、後世の人に津波の怖さを伝えることの大切さを実感したとの事であった。



日和山の道路を挟んだ隣りに慰霊碑が新しく建てられていた。

この慰霊碑は、震災により犠牲になった人が、天に昇っていくイメージを表すと共に、震災を克服し、復興に向けた決意を新たにする気持ちを含め、「種の慰霊碑」から発芽した「芽生えの塔」が上へ上へと伸びていく姿を表現している。この慰霊碑と同じ高さ(8.4m)の津波が押し寄せた。芳名板には名取市民の犠牲者と市内で亡くなった人の計 944 人の名が刻まれている。



閑上朝市には震災前にも行ったことはなく、今回が初めて。日曜日と言うこともあり、閑上では朝市だけ

が多くの人で溢れんばかりだった。

魚介類売り場が多く、殻付きカキ・ホタテ・イカなどを浜焼きで食べている人たちも多かった。



海鮮屋でゼイタクな海鮮丼と名物の赤貝を頼み、昼間から一人でカンパイ！

翌日は同期の友人と自然薯掘り。残念ながら蔓の残骸は見つかるが、地面からの出所が見つけられず、久しぶりの収穫ゼロ！